

包装にまつわる課題解決はここに! 最新技術が集結しトレンドを体感

未来への包程式 -当たり前その先へ-

われわれの生活に欠かすことのできない包装および関連産業の最新機器・技術を展示公開、そして体験。バリューチェーンで全体最適を実現する「包程式」が、あらゆる生活必需品の生産から流通、消費、廃棄にわたる多種多様な課題を解決する。見つけよう、包装のチカラを。

① 持続可能社会への対応 ② 生産現場の自動化・効率化 ③ 安全安心の実現 ④ 市場の拡大

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 第1類 包装機械/荷造機械 | 第7類 環境対策機械・関連機器 |
| 第2類 包装資材・容器 | 第8類 衛生管理機器・資材 |
| 第3類 印刷機械・関連機器/包材加工機械 | 第9類 物流機械・関連機器/店舗設備機械 |
| 第4類 ロボット/機械部品・要素技術/包装関連機械/検査機・検出機 | 第10類 デジタル技術/ソフトウェア |
| 第5類 食品加工機械・関連機器 | 第11類 エンジニアリング・システム |
| 第6類 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器 | 第12類 団体/プレス/研究・教育機関/人材サポート/その他 |

特別展示・主催者企画

■包装のトレンドが分かる!「自動化・環境ソリューションコーナー」 NEW! 会場:東5ホール

人手不足の解消、省エネ・省資源化、DXの推進など、現場の生産性向上に寄与する「自動化ソリューション」、SDGs、プラスチックの適正使用、廃棄ロスの削減など、持続可能な社会実現に寄与する「環境ソリューション」をパネル・動画で展示。来場者と各出展ブースをつなげる“羅針盤”となりビジネスマッチングを加速させます。さらに、会場内で実施する『集中企画プレゼン』で包装のトレンドがコンパクトに掴めます。

■スタートアップ&アカデミックエリア NEW! 会場:東5ホール

自動化・環境に関する先進的かつ革新的な製品や技術の開発・研究・提供を行っているスタートアップ企業、教育・研究機関14社・機関が、最新の技術やソリューション、研究成果を披露し、来場者・出展者間の共創・協業、投資パートナーとのイノベーションを促進します。会場内で行われる『ピッチプレゼン』で、最新情報をコンパクトにお伝えします。

■MOBAC SHOWパビリオン NEW! 会場:東5ホール

永年にわたり各種製パン製菓技術の開発により関係ユーザーの生産性向上や販売力促進等の価値を創出している日本製パン製菓機械工業会の特別展示ゾーンを会場内に設置。10社・団体より、食品業界、とりわけ製パン製菓業界へ向けた効率化・省力化、省エネ・省資源化等の課題解決策を発信します。会期最終日には、自動化ステージにおいて、『製パン製菓技術トレンドセッション』も実施しますので、ご期待ください。

■CLOMAパビリオン 会場:東3ホール

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA)会員企業20社・団体が集い、持続可能な社会実現のために、容器包装における「環境配慮設計」「プラスチックの適正使用」「新素材・代替素材の提案」「廃棄ロスの削減」「3R+Renewableの推進」に関する新たな役割や付加価値(イノベーション)を提案します。会期最終日に環境ステージで行われる『CLOMAセッション』にもご注目ください。



■包装ライフサイクルコーナー 会場:東3ホール

『未来への包程式=0(ゼロ)』をテーマに、容器包装にまつわる国内外の最新動向・ライフサイクル全体の可視化・個別製品のライフサイクルに係るストーリーを実物や数値情報で展示し、豊かで、優しく、魅力あふれる持続可能な社会の実現に向けて、当たり前となっている“今”そして“一歩先の未来”を表現します。会期3日目に行われる協賛企業による『包装ライフサイクルセッション』にも併せてご参加ください。



■JAPAN PACK AWARDS 2023 会場:東5ホール

本展出展者が新規性・独創性を発揮して全力で取り組んでいる技術研究・開発の成果を広く発信し、新製品・新技術の創出促進を目的として実施します。安全性・衛生性、生産性向上、品質向上、省資源・省エネ、省人化等の課題解決につながる製品および技術に対し、特に優秀と認められるものをパネル展示。会期2日目の表彰式にて発表します。



■産学連携企画 会場:東5ホール

包装業界がいかに生活に身近で、かつ社会貢献度の高い業界であるか、日本包装機械工業会の会員企業8社がタッグを組んで、学生向けにガイダンスや会場巡回ツアーを実施します。『就活サポートコーナー』では、学生支援コンシェルジュが、日頃の悩みを解決へ導きます。



■包装相談コーナー 会場:東5ホール

来場者が抱く課題や疑問に包装のプロが直接お答えするコーナー。関連書籍紹介や会場案内のほか、出展者から提供された最新技術情報および主催者独自のデータベースを使用して、出展者のニーズと来場者のニーズをマッチングします。



■WEBブース

全出展者が東京ビッグサイトと公式ウェブサイトの両会場に出展。時間や場所の制約なく、新しい出会いの機会を創出します。ぜひ当展ご来場前に、出展者ページをご覧ください。



案内状

2023.10.3 TUE - 6 FRI 10:00-17:00 東京ビッグサイト [東展示棟2~6ホール]

最新情報と来場事前登録は公式ウェブサイトから www.japanpack.jp



生産ラインの自動化・効率化、持続可能な社会実現に向けて

昨今の生産現場では、人手不足の解消、省エネ・省資源化、DXなど、自動化や効率化が推進され、他方、SDGs、プラスチックの環境配慮設計、廃棄ロスの削減など、持続可能な社会の実現に向けた各種課題の解決策も希求されています。

JAPAN PACK 2023では、『未来への包程式-当たり前その先へ』をメインテーマに掲げ、生産ラインに関する様々な新機種・新提案が、会場内において一堂に会し、サプライチェーンにおける多様なソリューションを『包程式』として具現化することにより、製造・流通・小売分野へ向けた商品力向上や販売力促進等に寄与するとともに、ビジネス拡大の機会を創出します。

食品、医薬・化粧品、日用品、工業製品等、あらゆる商品の製造業界へ。

DX推進、人手不足解消、製造コスト低減、消費期限延長、商品の安全安心、プラスチックの適正使用(活プラ)、省エネ・省資源化、サステナビリティ推進による企業価値向上等の課題に対する解決策や取り組みを発信。

商品力向上の
価値を創出

スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ECサイト等の小売流通業界へ。

人手不足解消、物流コスト低減、製品保護、購買意欲喚起、生活に調和する包装形態、商品ロス削減、回収~リサイクル網の構築、販売現場およびバックヤードでの衛生対策等の課題に対する解決策や取り組みを発信。

販売力促進の
価値を創出

あなたへ。

扱いやすい包装形態、リサイクルしやすい包装形態、超高齢化社会、生活・購買の多様化、衛生性の担保、3R+推進、エシカル消費、プラスチックの適正使用(活プラ)、使用済みパッケージのエネルギー活用、包装産業・関連産業の活性化と発展、人材育成、循環型社会の構築、脱炭素社会の実現等の課題への取り組みを発信。

持続可能社会×
包装の価値を宣言

来場事前登録、各種セミナーのお申込みは、公式ウェブサイトから www.japanpack.jp



「JAPAN PACK 2023」は、来場者管理のため、来場登録をお願いしています。

※各種セミナーの申し込み開始は9月1日からの予定です。

1 公式ウェブサイトアクセス
来場事前登録より登録してください。



2 入場証をプリントアウト
して会場に持参



3 入場証を首掛けホルダー
に入れて入場



お問合せ

一般社団法人日本包装機械工業会「JAPAN PACK 2023」運営事務局

所在地:東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階 TEL:03-6222-2277 E-mail:japanpack@jpmma.or.jp

包装業界の“いま”がわかる、講演・セミナーを随時開催

自動化・環境にまつわる多彩な講演・セミナー

基調講演

■10月3日(火) 11:00-12:00 会場:東3ホール 環境ステージ
最近の資源循環政策の動向について(仮題)
 田中 将吾 氏[経済産業省 産業技術環境局 資源循環課長]
 ■10月3日(火) 11:00-12:00 会場:東6ホール 自動化ステージ
経済産業省 製造産業局

特別講演

■10月3日(火) 13:00-14:00 会場:東3ホール 環境ステージ
味の素グループのサステナビリティ戦略
 森島 千佳 氏[味の素(株) 執行役員]

■10月3日(火) 13:00-13:50 会場:東6ホール 自動化ステージ
(株)明治の菓子工場における自動化の実態とDX化への提言
 伊田 寛 氏[(株)明治 執行役員 モノづくり戦略副部長]

■10月4日(水) 13:10-14:10 会場:東3ホール 環境ステージ
農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室 室長

■10月6日(金) 10:30-11:15 会場:東3ホール 環境ステージ
企業連携による使用済みプラスチック循環社会への挑戦
 横井 恒彦 氏[(株)アールプラスチック 代表取締役社長]

■10月6日(金) 10:30-11:20 会場:東6ホール 自動化ステージ
**「Well-being実現に向けた日清食品における変革」
 ～日清食品が考える働き方改革・社会課題の解決を実現する打ち手とは?～**
 深井 雅裕 氏[日清食品(株) 取締役 サプライチェーン本部長 兼 Well-being推進部長]

特別企画

■10月3日(火) 14:30-16:30 CLOMAパネルディスカッション 会場:東3ホール 環境ステージ
日本のサーキュラーエコノミーを牽引する～CLOMAメンバーの取り組み～
 (コーディネーター) 柳田 康一 氏[CLOMA事務局 技術統括]
 (パネリスト) ネスレのサステナブルパッケージの取り組み

嘉納 未来 氏[ネスレ日本(株) 執行役員 コーポレートアフェアーズ統括部]
プラスチック資源循環に向けた日用品業界の取り組み紹介
 田村 英子 氏[花王(株) 包装技術研究所 所長]
持続可能なプラスチック利用に向けたイオンの取組
 鈴木 隆博 氏[イオン(株) 環境・社会貢献部 部長]
資源循環を軸にした互助共助の仕組みづくりへの挑戦
 田部井 進一 氏[アミタ(株) 代表取締役]

■10月5日(木) 10:20-11:50 IoTパネルディスカッション 会場:東6ホール 自動化ステージ
包装機械のIoTと今後の展望(仮題)
 (コーディネーター) 宝坂 健児 氏[ジェイバックワールド(株) 代表取締役社長]
 (パネリスト) 田丸 慎司 氏
 [味の素食品(株) 技術本部 技術開発部 包装技術開発グループ 兼 DX戦略推進部 ICT情報システムグループ]
 岡部 忠 氏
 [(地)東京都立産業技術研究センター 開発本部 情報システム技術部 IoT情報システムグループ 主任研究員]
 三菱電機(株)
 (一社)日本包装機械工業会 技術委員会 IoT WGメンバー

■10月5日(木) 10:30-11:30 包装ライフサイクルセッション 会場:東3ホール 環境ステージ
持続可能な社会の実現に向けて
 DNP環境配慮パッケージングGREENPACKAGINGとDNPGREENサポートプログラム
 宇都宮 由花 氏[大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 IPCビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 1G]
持続可能な社会の実現に向けてパッケージでできること
 三瓶 謙二 氏[凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 SX推進センター SX事業開発本部 戦略チーム]
禁忌品古紙の回収・再利用システムの構築について
 三浦 高弘 氏[王子ホールディングス(株) インベション推進本部パッケージング推進センター-上級研究員] 他 三浦 高弘 氏

■10月5日(木) 12:00-13:00 会場:東3ホール 環境ステージ
環境に配慮した包装技術と取組み(仮題)
 橋本 哲 氏[(株)インダ 第一開発部 包装開発一課 課長]
 有賀 政行 氏[大森機械工業(株) 営業本部 営業第1部 第1課 チーフ]
 窪井 宏行 氏[(株)川島製作所 商品開発部 次長]

■10月6日(金) 11:45-12:45 CLOMAセッション(第1部) 会場:東3ホール 環境ステージ
多層技術、二重容器から環境対応へ進化した今までにない画期的な容器「スポットとEcoボトル」
 吉田 攻一郎 氏[キョーラク(株) パッケージング事業部 シニアマネジャー]
環境配慮型、A-PETプラスチックカップのご紹介
 寺川 雄介 氏[東名化学工業(株) 営業部-開発統括チームリーダー]
新しい脱プラスチック～バルブ発泡成形品/PaperFoam®のご紹介～
 今井 宏樹 氏[NISSHA(株) 産業資材事業部戦略部ecosense molding推進グループ]

■10月6日(金) 13:15-14:15 CLOMAセッション(第2部) 会場:東3ホール 環境ステージ
廃プラスチックのケミカルリサイクルと未来の理想像
 野田 修嗣 氏[環境エネルギー(株) 代表取締役]
プラスチックゴミゼロへの挑戦
 前原 志保 氏[ゲンゼ(株) プラスチックカンパニー-営業統括部 リモート営業開発課 課長]
プラスチックマテリアルリサイクル技術～静電選別技術～
 井関 康人 氏[三菱電機(株) 営業本部 事業推進部 リサイクル共創センター-センター長]

■10月6日(金) 14:45-15:45 CLOMAセッション(第3部) 会場:東3ホール 環境ステージ
デジタル印刷を用いた軟包装材の包材ロス削減について
 吉田 潤一 氏[福島印刷工業(株) 営業戦略本部マーケティング部 開発室長]
木材パルプから作られる機能性フィルム・環境対応素材
 杉山 公寿 氏[レンゴウ(株) 化学品・セルロース商品開発本部 副部長]
海洋プラスチックごみ問題に挑む企業アライアンス“CLOMA”
 渡辺 真司 氏[CLOMA事務局]

■10月6日(金) 14:30-16:00 製パン製菓技術トレンドセッション 会場:東6ホール 自動化ステージ
三幸機械(株)、(株)飯田製作所、(株)マズダック、(協)日本製パン製菓機械工業会

JAPAN PACKセミナー
 ■10月3日(火) 14:20-15:10 会場:東6ホール 自動化ステージ
AIビジョンとロボットで食品業界の未来をつかむ
 中川 友紀子 氏[(株)アールティ 代表取締役]

■10月4日(水) 10:30-11:20 会場:東3ホール 環境ステージ
化粧品業界における容器包装の環境配慮について
 松本 州平 氏
 [日本化粧品工業会 サステナビリティ推進委員会 容器包装部会長 / 花王(株) 包装技術研究所 室長]
KOSEが取り組んだ環境配慮設計事例の紹介
 加川 泰央 氏
 [日本化粧品工業会 サステナビリティ推進委員会 容器包装部 委員 / (株)コーセー 商品デザイン部設計開発室 室長]

■10月4日(水) 10:30-11:20 会場:東6ホール 自動化ステージ
最新スマート工場における自動化技術と環境配慮の取組事例
 箕輪 巧 氏[(株)ニチレイフーズ 生産統括部 技術戦略部長]

■10月4日(水) 11:50-12:40 会場:東3ホール 環境ステージ
持続可能な未来のための食品システムの変革
 鍛冶 葉子 氏[日本トラバック(株) マーケティングディレクター]

■10月4日(水) 14:40-15:30 会場:東6ホール 自動化ステージ
デジタルプリントを起点としたビジネス展開について
 石橋 賢一 氏[凸版印刷(株) 西日本事業本部 九州事業部 企画販促本部 販促促進チーム 課長]

■10月4日(水) 16:00-16:50 会場:東3ホール 環境ステージ
海外の最近の包装事情と予想される動き
 松田 修成 氏[(株)東洋紡パッケージング・ブラン・サービス シニアアドバイザー]

■10月5日(木) 12:20-13:10 会場:東6ホール 自動化ステージ
生産現場のIoT化による生産性向上と未来のモノづくりに対するDX化
 石田 昭氏
 [アムロン(株) インドustrialオートメーションビジネスカンパニー ソリューション営業本部 オートメーションセンタ技術部 西部技術課]

■10月5日(木) 13:30-14:20 会場:東3ホール 環境ステージ
包装なしでは語れない冷凍食品
 三浦 佳子 氏[(一社)日本冷凍食品協会 広報部長]

■10月5日(木) 13:40-14:30 会場:東6ホール 自動化ステージ
食品産業の労働生産性の向上について
 丹羽 輝 氏[(株)日本能率協会コンサルティング 生産コンサルティング事業本部]

■10月5日(木) 14:50-15:40 会場:東3ホール 環境ステージ
環境問題から見える学校教育
 関口 寿也 氏[東京都多摩市立蓮光寺小学校 校長]

■10月5日(木) 15:00-15:50 会場:東6ホール 自動化ステージ
デジタルマニュファクチャリングの取り組み
 市岡 裕嗣 氏[三菱電機(株) 名古屋製作所 ソフトウェアシステム部 部長]

■10月5日(木) 16:10-17:00 会場:東3ホール 環境ステージ
ライオンのプラスチック資源循環への取組み
 中川 敦仁 氏[ライオン(株) サステナビリティ推進部]

■10月6日(金) 11:50-12:40 会場:東6ホール 自動化ステージ
ユーザとメーカーで実現する包装機械を活用した効率的で安全な作業
 福田 隆文 氏[長岡技術科学大学 名誉教授]

■10月6日(金) 13:10-14:00 会場:東6ホール 自動化ステージ
中小惣菜製造企業へのロボフレと合本主義による最先端技術の高速社会実装
 -AI・ロボット・デジタルツイン・量子コンピューター
 荻野 武 氏[(一社)日本惣菜協会 AI・ロボット推進イノベーション担当 フェロー]

日本包装機械工業会セミナー

■10月4日(水) 11:50-12:40 会場:東6ホール 自動化ステージ
食品工場に向けたDXソリューション
 谷津 弦也 氏[アンリツ(株) 環境計測カンパニー 新事業推進室 DXソリューション部]
画像IoTプラットフォーム「FORXAI」で実現する食品工場DX
 今井 利幸 氏[コニカミノルタ(株) FORXAI事業統括部 事業推進部 マネジャー-技術士(機械部門)]

■10月4日(水) 14:40-15:30 会場:東3ホール 環境ステージ
環境にやさしいバイオマスプラスチックの医薬品用PTP包装への適用拡大に向けて
 細越 淳来 氏[アステラス製薬(株) CMC開発部 製剤研究所 包装・デバイス研究室]

ビジネスマッチングを促進するプレゼンを実施!

各対象企業・団体による、課題解決を加速させる最新鋭の製品・技術・サービスをPR!

カテゴリ	持	生	安	市
	=持続可能社会への対応	=生産現場の自動化・効率化	=安全安心の実現	=市場の拡大

JAPAN PACK 2023出展者による 出展者プレゼン

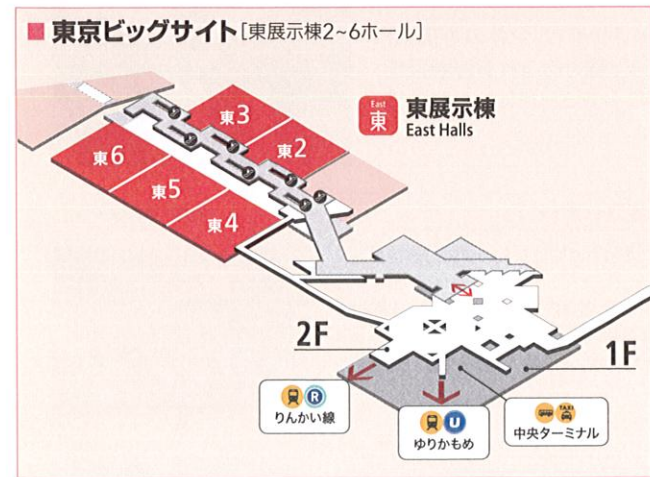
■10月3日(火) 13:30-14:15 会場:東3ホール プレゼン会場A
軟包装材料のトレンド 食の安心・安全と改正食品衛生法、そして環境負荷低減
 坂田 亮 氏[軟包装衛生協議会 常務理事]
 ■10月3日(火) 14:30-15:15 会場:東6ホール プレゼン会場B
コレ!と感じるコンパクトでアルミ包装対応の金属検出機のご紹介
 牧野 良保 氏[新東工業(株) テクノアイプロジェクトチーム チームリーダー]
 ■10月3日(火) 14:35-15:20 会場:東3ホール プレゼン会場A
インラインカラー測定システム“デルタカム”のDX運用提案
 魚井 毅 氏[日本ポールドウィン(株) Package&Offset 事業部]
 ■10月4日(水) 13:30-14:15 会場:東3ホール プレゼン会場A
ここをおさえない! EU・北米向け食品接触材規制基本の内容と留意点
 松本 貴章 氏[デュフ ラインランド ジャパン(株) 製品事業部 ソフトライン&ハードライン部 営業]
 ■10月4日(水) 14:30-15:15 会場:東6ホール プレゼン会場B
パッケージ検査における業界課題とディープラーニングを用いた解決事例(仮題)
 川田 正之 氏[コグネックス(株) 製品マーケティング部] (予定)
 ■10月5日(木) 13:30-14:15 会場:東6ホール プレゼン会場B
ファナックロボットの最新技術について
 森岡 昌宏 氏[ファナック(株) ロボット事業本部 ロボット機構研究開発本部 技師長]
 ■10月5日(木) 14:30-15:15 会場:東3ホール プレゼン会場A
食品容器包装にHACCPを適用するポイント ～容器包装の特殊性を踏まえた構築～
 横尾 一好 氏[日本規格協会ソリューションズ(株) 審査登録事業部 主任審査員]
 ■10月6日(金) 13:30-14:15 会場:東6ホール プレゼン会場B
最新テクノロジーを用いたリニア搬送システムと活用事例のご紹介
 小平 克巳 氏[ベッコフオートメーション(株) ソリューション・セールス・エンジニア]
 ■10月6日(金) 14:30-15:15 会場:東3ホール プレゼン会場A
FSSC22000 Ver.6への対応 ～食品製造業の現場の具体例を中心に～
 馬淵 恭子 氏[日本規格協会ソリューションズ(株) 審査登録事業部 主任審査員]

スタートアップ&アカデミックエリア ビッチプレゼン

■10月4日(水) 10:30～10:55 会場:東3ホール プレゼン会場A
実は珍しい?プラスチックやPFASを含まない紙製容器
 畑井 幸二 氏[オーミケンシ(株) 環境資材事業本部 開発部 担当部長]
 ■10月4日(水) 11:15～11:40 会場:東3ホール プレゼン会場A
合成紙ユボ®における環境配慮型製品および開発事例の紹介
 中村 綱 氏[(株)ユボ・コーポレーション 開発部 部長]
 ■10月4日(水) 11:20～11:45 会場:東6ホール プレゼン会場B
包装業界におけるGenerative AIの活用方法
 高品 良 氏[(株)APTO 代表取締役]
 ■10月4日(水) 12:05～12:30 会場:東6ホール プレゼン会場B
企業がAIでビジネスを成長させるためにやるべきことは何か
 古川 祐督 氏[(株)モルフォAIソリューションズ 事業管理執行役員]
 ■10月5日(木) 10:30～10:55 会場:東6ホール プレゼン会場B
驚くのは安さではない、その精度だ!出荷前検品を完全自動化(仮題)
 萩原 啓悟 氏[(株)フツパー ビジネス開発部] (予定)
 ■10月5日(木) 11:15～11:40 会場:東6ホール プレゼン会場B
触覚センサーを活用した検品・品質管理ソリューション
 濃野 友紀 氏[(株)FingerVision CEO]
 ■10月5日(木) 11:20～11:45 会場:東3ホール プレゼン会場A
ウェットコートによるウルトラハイバリアの開発
 硯里 善幸 氏[山形大学 硯里研究室 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 教授]
 ■10月5日(木) 12:05～12:30 会場:東3ホール プレゼン会場A
製品単位のLCA/CFP算定プラットフォーム LCA Plus
 荒川 朋也 氏[三井物産 LCA Plus LCA Plus事業推進チーム プロジェクトマネージャー]

50以上の併催プログラムをご用意!
 最新情報は公式ウェブサイトにてご確認ください。
www.japanpack.jp

※各種プログラムは、2023年6月30日現在の情報となります。



包装学校50周年記念事業

日本包装機械工業会では、教育事業の一環として「包装学校」を開講し、今年で50周年の節目を迎えます。開講50周年を祝し、本展会期中に、講演会や表彰式、祝賀会などの記念行事を行う予定です。会場内には「包装学校ブース」も設け、これまでの歴史もご覧いただけます。

